

世界トップレベルの高熱効率エンジンを開発 コンパクトカーの頂点を目指す 新型ヴィッツ!

Vitz DEBUT

1.3ℓ車
25km/ℓ
を実現



スピードメーター (1.3 ℓ (2WD) 車、"SMART STOPパッケージ"に標準装備)



内外装はライブリーがテーマ

スーパーUVカット
IRカット機能付き
フロントドアガラス
を標準装備!

SRSエアバック (運転席・助手席)
SRSサイドエアバック (運転席・助手席) &
SRSカーテンシールドエアバック (前後席)



1.3F (2WD) (内装色:アイボリー)



発行所
日刊自動車新聞社
東京都港区芝大門1丁目10番11号
芝大門センタービル3階
電話 東京 (03) 5777-2351 大代表

TOYOTA
新型
ヴィッツ
特集号

トヨタのネットディーラーにはコンパクトカーから最新のミニバン、
ハイブリッド車からスポーツカーまで

幅広いラインアップがそろっている!



ひと味違うヴィッツを欲しい人にオススメのスポーツバージョン

Vitz G's



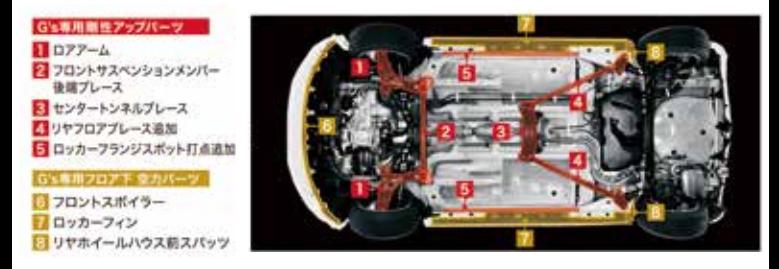
Vitz 1.5RS "G's" (MT) (ホワイトパールクリスタルシャイン)

Vitz 1.5RS "G's" (MT) (内装色: ブラック)

ヴィッツRS G's

ヴィッツRSをベースにスポーツ指向のトータルチューニングを施した「ヴィッツRS G's」も新型に生まれ変わり、さらなるスープアップが図られた。スポット溶接の打ち増し、センタートンネル・ブレースの改良、リアフロアへのブレース追加によりボディ剛性はさらに高められ、専用サスペンション、専用電動パワーステアリングとあいまってシャープな動きに磨きをかけている。

エクステリアに目を移すと、ヘッドランプとフロントグリルの一体感が増し、ホイールデザインも見直されてスポーティさを強調。ちなみにホイールは軽量化も図られて走行性能の向上にも貢献している。インテリアはインパネやシフトベゼルにツヤ感のあるカーボン調デザインを施し、G's専用スポーツシートは形状と表皮を変更してホールド感を高めるとともに質感も向上。RSと同じく5速MTとスーパーCVT-iが用意され、ひと味違うヴィッツを欲しい人にオススメのスポーツバージョンに仕上がっている。



G's専用剛性アップバー

1 フロアーム
2 プロトタイプエンジンマニホールド
3 リアサスペンションマニホールド
4 リアターンネルブレース
5 リヤプロアフレーム追加
6 ロッカーフラッシュスポットドット点追加
7 リヤホイールハウス前スパット

G's専用フレーム下空気バーバー

8 フロントスポイラー
9 リヤプロアフレーム追加
10 リヤホイールハウス前スパット

G's専用剛性アップバー & G's専用フレーム下空気バーバー

インテリアとボディカラー

「ライブリー」をテーマにスポーティ感と上質感ともに高めたインテリアは、デザインや触感を吟味して満足度の高い仕上がりとなっている。樹脂部のシボ、フィルム加工、メッキやシルバー加飾などでワンランク上の車種にも負けないクオリティ感を保っている。メーターのデザインも変更され、アイドリングストップ車では右下に4.2インチカラー TFT のマルチインフォメーションディスプレイを配置。さまざまな情報を表示するとともに、エコドライブ診断などで地域に優しい運転をサポートしてくれる。ボディカラーは7色の新色を採用し、全17色から選ぶことができる。一新されたインテリアカラーとともにコーディネイトを楽しめるのも新型ヴィッツの大きな魅力だ。

女性にうれしい装備を充実



全車にVSC&TRC、緊急ブレーキシグナルを標準装備

Vitz F ベーシックタイプ Vitz 1.3F (2WD) ルミナスイエロー

Vitz RS スポーツタイプ

迫力のある大開口
メッシュロアグリル

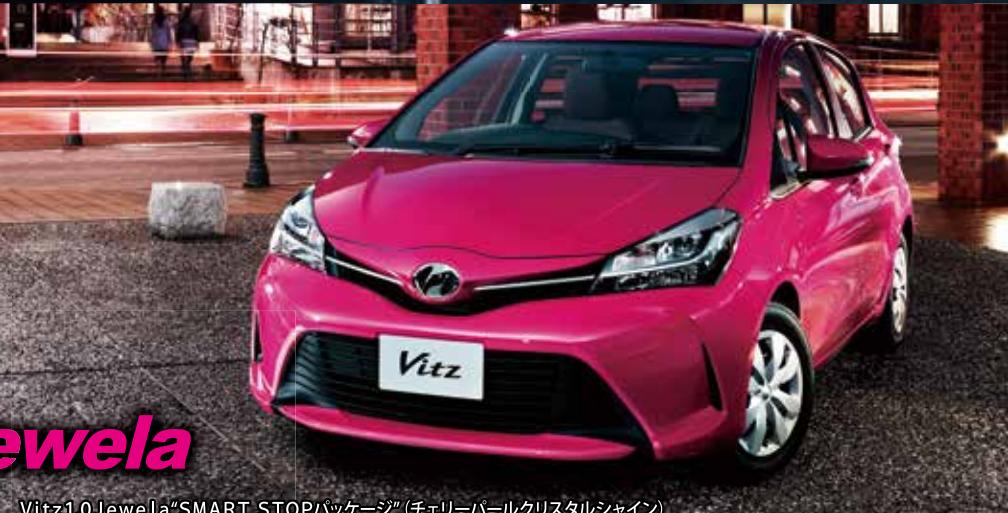
Vitz 1.5RS (MT) ブラックメタリック

ベーシックな「F」、華やかさを表現した「Jewela」、上質感を追求した「U」、スポーティな「RS」と4つのグレードを用意。



Vitz Jewela

Vitz 1.0 Jewela (内装色: バーガンディー)



Vitz 1.0 Jewela "SMART STOPパッケージ" (チェリーパールクリスタルシャイン)

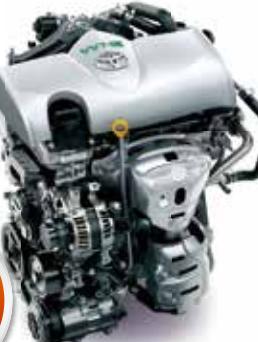
新開発エンジンについて

新開発の1.3lエンジンは、一滴の燃料をいかに効率よくエンジン回転力に変えるかを考え抜いて世界トップレベルの熱効率を実現。ハイブリッド車で培ってきたノウハウに加え、さまざまな損失の低減、クーラードEGRやVVT-iEの採用といったテクノロジーを駆使して実用化を図ったもので、新世代のガソリンエンジンと見ていいただろう。アイドリングストップ機構を標準装備した2WD車でJC08モード値25.0km/lという低燃費を実現し、さらに運転するのが楽しいトルク特性を与えられるなど、最新のコンパクトカーにふさわしいパワーユニットに仕上げられている。

一方で1.0lも圧縮比の向上や低フリクション化などで高い熱効率を実現し、燃費性能を向上。パワフルな走りが楽しめる1.5lも燃費改善が図られ、高出力とエコ性能を両立させている。1.0lと1.5lともアイドリングストップ機構搭載車も用意され、より低燃費のスペックを選ぶこともできる。

トヨタ自動車のユニット統括部の足立昌司さんは「ハイブリッド開発で磨いた燃焼技術を生かし、高熱効率、低燃費エンジンを開発することができた。新型車を皮切りにさらに環境にやさしいクルマづくり」を目指す姿勢を強調している。

1.3l車
25km/l
を実現



Vitz 1.3l エンジン

17 Colors

エクステリア

全長3885mm、全幅1695mm、ホイールベース2510mmというボディサイズはそのまま、フロントデザインとリアのコンビネーションランプを一新。フロントはネッサンブルームを中心としたV字ラインをより強調し、トヨタ独自の「キーンリック」が見る者の目を引きつける。ハの字形に張り出したバンパーがワイド感を強調し、存在感の増したスタイルはクールかつ頼もしい。ヘッドライト回りのクオリティ感も増しており、所有感を満たしてくれる仕上がりだ。リアコンビネーションランプは立体感のある造形がなされ、過ぎ去ったあと印象に残るデザインとなった。スポーティグレードのRSは迫力のある大開口メッシュロアグリルが特徴となり、ホット・ミニにふさわしいリラックスといつていいだろう。

利便性と安全性能

日常生活のパートナーとなるコンパクトカーだけに収納などの利便性も欠かせないが、その点でも新型ヴィッツは抜かりない。助手席前にはアンダーボックスに加えて大容量のアッパーBOXが新設され、可動トレイを活用することで自分好みにスペースを区切っての収納が可能となる。コインケースやカードケース、ボトルホルダーも効率的に配され、運転席の回りをスッキリ整理できる。これは安全運転にも貢献するはずだ。さらにスーパーUVカット・IRカット機能付きフロントドアガラスの採用で、お肌の大敵である紫外線も大幅にカット。安全性に関してはクルマの挙動を安定させるVSCおよびTRC、追突を防ぐ緊急ブレーキシグナルを全車に標準装備。事故を未然に防ぐシステムも整えられている。

